

文学館だより

平成30年 1月 1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

恭賀新年

旧年中は大変お世話になりました
ことしは牧水没後90年 喜志子没後50年
という節目の年
こゝろ生誕の地は顕彰活動により尽力してまいり
所存でございます
本年も格別のご支援とよろしくお願ひいたします
平成三十年一月

「黒松」収録 昭和二年詠

木漏日の
日ざし袖にあり
森なかの
路をゆきつつ
けふは元日

平成30年もどうぞよろしくお願いいたします

牧水没後90年、併せて喜志子没後50年を迎える平成30年が明けました。日向市東郷町若山牧水顕彰会では、『牧水没後90年記念事業』として今年一年を通していくつもの企画を準備いたしております。これを機にますます牧水顕彰に邁進してまいりますので、地元のみなさまをはじめ全国の牧水ファンのみなさま、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

文学館だよりも発行3年目を迎えます。坪谷の地元のみなさんに読んでもらおうと書き始めました。「毎月、日向市駅に見に行ってるよ。」「ホームページで読んでいます。」との声を聞いた時は、跳び上がるほどうれしかったです。今年も牧水生誕の地より地元ならではの牧水関連ニュースを発信してまいります。こちらもかわいがっていただけるとうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

『文学館だより』はこちらからご覧いただけます

- 【回覧】 坪谷区、仲深区にお住いのみなさま
【パネル設置】 ①日向市駅 ②日向市立図書館 ③日向市役所教育委員会玄関
④日向市観光協会 ⑤道の駅ひゅうが ⑥道の駅ほそしま
⑦道の駅とうごう ⑧さくら館 ⑨坪谷郵便局
⑩坪谷小学校 ⑪牧水庵 ⑫お菓子の虎屋（延岡市）
⑬若山牧水記念文学館
【ポスター掲示】 ①中島記念館 ②JA日向東郷支店 ③日向市中央公民館
【ホームページ閲覧】

お知らせ 「牧水没後90年記念事業」 おたのしみに！

- ◆ 牧水祭前日祭（9月16日（日）予定）
- ◆ 第68回牧水祭（9月17日（月）予定）
- ◆ 記念切手発行
- ◆ 『命の碎片』改訂版発刊
- ◆ 企画展「牧水の『花』『鳥』『風』『月』」（「月」は昨年終了）終了後、製本、発刊
- ◆ 牧水の母校短歌作品展 ～坪谷小、延岡高校、早稲田大学短歌会～

第7回 青の國若山牧水短歌大会表彰式終わる

昨年より 400 首増の 4078 首の応募をいただいた青の國若山牧水短歌大会。
4078 首の頂点に輝いたのは、一般の部 題詠「空」にご応募いただいた 静岡市在住
今井克己様の作品

ハイジャンプ放物線^{せな}を背で描くおへそは空に頂点記す

さらに、部門
ごとに 130 の
作品に賞が贈
られました。

部 門	応募作品数	審 査 結 果				
		大 賞	最優秀賞	優秀賞	優良賞	佳 作
小学生の部	569 首		1 首	2 首	3 首	20 首
中学生の部	1,125 首		1 首	2 首	3 首	20 首
高校生の部	1,456 首		1 首	2 首	3 首	20 首
一 般 の 部	(自由題) 487 首		1 首	2 首	3 首	20 首
	(題詠「空」) 441 首	1 首	1 首	2 首	3 首	20 首
計	4,078 首	1 首	5 首	10 首	15 首	150 首



最優秀賞、優秀賞、優良賞の 31
名の方には、受賞作を刻んだ楯を、
佳作 100 名の方には、賞状と受賞
作を焼きつけた湯のみを贈らせて
いただきました。

第8回もみなさまの投稿を
お待ちしております。



牧水かるた大会 開催

12月25日 日向市文化交流センターにて

冬休みに入り、日向市小中学生による『牧水かるた大会』が行われました。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小学校チーム対抗戦	日知屋小	寺迫小	日知屋小	寺迫小	東郷小
中学校チーム対抗戦	美々津中	美々津中	東郷中	富島中	東郷中

【個人戦 小学校の部】

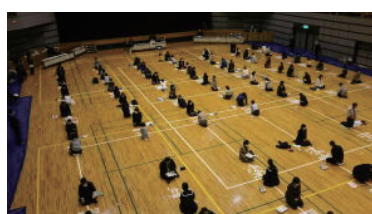
1 位	坪谷小 4 年	黒田紗良さん	98 枚
2 位	坪谷小 6 年	河野幹雅さん	97 枚
4 位	坪谷小 5 年	稲田百華さん	96 枚

牧水先生母校つぼやっ子たち大活躍 !!

先パイらを抑えて、
なんと 4 年生の優勝です。
お手つきで 1 枚返上した結果の 98 枚。
来年は 100 枚完全優勝をねらうと早くも
目標は来年に向かっていきます。



大会を終えてのつぼやっ子たち



個人戦風景

昭和 49 年、坪谷中、東郷中 2 校からスタートし、2 年後に東郷町内の小学校も加わり続けられてきた牧水かるた大会。今では日向市内全校行事となりました。

4 人 1 チームで取り札の合計枚数を競うチーム対抗戦。「若竹の～」と、上の句が読み上げられると、札に一斉に手が伸び、スピードが勝負です。対照的に、ひとりで 100 枚の取り札に向かう個人戦。静寂の中に緊張感はりつめる自分との戦いでもあります。子どもたちの姿に牧水先生もご満悦のことでしょう。